



設計の付加価値作業とは何だろう

設計の結果を示すアウトプットが図面だとしたならば、設計の付加価値作業は図面を書いている瞬間であり、そのために資料を集めたり打ち合わせをする動作はムダな時間だということになる。そのくらいに考えないと、設計工程のムダ取りは進んでいかない。

図面を書く動作にしても、CADに向かってキーやマウスを操作をしている時間は付加価値を生み出しているのだが、画面を見ながら考えている時間はムダな時間だと定義をするのだ。こう考えていくと、付加価値動作の比率は25パーセントにも満たないのかもしれない。

ムダな動作にはどんなものがあるのか

仕様確認	←----- 明確になっていない部分をはっきりさせる。	短 や く め す ら る れ こ な と い は か で き な い か と 発 想 す る
資料収集	←----- 設計に必要な情報を集める。	
関連調査	←----- 設計でクリヤーしなければならないこと。	
検 図	←----- 他人が作成した図面をチェックする。	
打ち合わせ	←----- 他部門や分担する人とのレベル合わせ。	
資料作成	←----- どこかに提出する資料。	
出 張	←----- 会社にいなければ設計作業に従事できない。	
会 議	←----- 今の設計に直接関係していない打ち合わせ。	
電 話	←----- 今はメールの方が多いかも。	
記 録	←----- 日報みたいなものを書かなければならない。	